

□大学院共通科目

科目名	研究方法概論Ⅲ	1 単位
担当者	末盛 慶	
開講形態	オンデマンド形式 ※【nfu.jp】で配信される講義コンテンツを視聴しながら学ぶ	
テーマ	応用的な多変量解析の手法、SPSS の使い方、量的論文の書き方について理解を深める。	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 量的方法、多変量解析、SPSS、量的論文の書き方</p> <p>&lt;内容の要約&gt;          研究方法概論Ⅰでは量的研究法の基礎を取り上げたが、本科目では量的研究法の応用的な内容について学んでいく。具体的には、多変量解析の中でよく用いられる多様な回帰分析に加え、因子分析、パネルデータ分析、マルチレベル分析などを取り上げる。実験研究や臨床研究についても取り上げる。講義の後半では、統計解析ソフト SPSS の使い方、量的論文の書き方等についてふれていく。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 量的研究法における応用的な内容を理解できる。</li> <li>② 統計解析ソフト SPSS の使い方について理解できる。</li> <li>③ 量的論文のまとめ方と注意点について理解できる。</li> </ol>	
授業の進め方	第1回 多様な回帰分析ーロジスティック回帰分析・多項ロジスティック回帰分析・順序回帰分析 第2回 因子分析 第3回 共分散構造分析・パス解析 第4回 実験研究・臨床研究 第5回 パネルデータ分析 第6回 マルチレベル分析 第7回 統計解析ソフト SPSS の使い方 第8回 量的論文の書き方ー結果の示し方と解釈の仕方ー	
事前学習の内容 学習上の注意	<b>本科目はオンデマンド授業のため、開講している期日までに必ず該当する回を履修すること。一部分でも期限内に受講しないと、単位認定の対象外となる。</b>	
本科目の 関連科目	私の研究テーマと研究方法（大学院共通科目）、統計解析講座（大学院共通科目）、研究方法概論Ⅰ（大学院共通科目）	
テキスト	毎回オリジナルのレジュメを用いる。	
参考文献	<p>【統計学と多変量解析に関する基礎】          栗原伸一・丸山敦史, 2017, 『統計学図鑑』 オーム社</p> <p>【多変量解析・RやSPSSの使い方】          畑農鋭矢・水落正明, 2022, 『データ分析をマスターする12のレッスン(新版)』有斐閣          神田善伸, 2024, 『初心者でもすぐにできるフリー統計ソフト EZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析(改訂第2版)』南江堂          川端一光・岩間徳兼・鈴木雅之, 2018, 『Rによる多変量解析入門』オーム社          米川和雄・山崎貞政, 2010, 『超初心者向け SPSS 統計解析マニュアル』北大路書房          三輪 哲・林雄亮, 2014, 『SPSS による応用多変量解析』オーム社          明石法子・岸田拓也・花塚優貴・天野成昭, 2025, 『多変量解析のための SPSS 操作マニュアル: 解析手順から結果・解釈の書き方まで』ナカニシヤ出版</p> <p>【パネルデータ分析・マルチレベル分析】          筒井淳也, 水落正明, 保田時男, 2016, 『パネルデータの調査と分析・入門』ナカニシヤ出版          沖本竜義, 2010, 『経済・ファイナンスデータの計量時系列分析』朝倉書店          安藤 正人, 2011, 『マルチレベルモデル入門』ナカニシヤ出版          清水裕士, 2014, 『個人と集団のマルチレベル分析』ナカニシヤ出版</p> <p>【量的論文の書き方ー結果の示し方や解釈の注意点】          江崎貴裕, 2020, 『分析者のためのデータ解釈学入門: データの本質をとらえる技術』ソシム          アメリカ心理学会(APA), 2023, 『APA 論文作成マニュアル(第3版)』医学書院          牧本清子・山川みやえ, 2020, 『よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版: 研究手法別のチェックシートで学ぶ』日本看護協会出版会          浦上昌則・脇田貴文, 2020, 『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方(改訂版)』東京図書</p>	
成績評価 方法と基準	期末レポート(50点)、授業内容に関する受講生のコメント・毎回提出(50点)により評価し、総合評価60点以上を合格とする。	